

# 旭洋造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

## 企業概要

- 昭和17年創立。ニッチなマーケットにおける多船種建造戦略の展開を掲げ、主に内航向けコンテナ船やタンカー等を中心に多種多様な船型を建造してきた。
- 日本の中小造船所として初めてISO9001認証を取得。品質管理の維持・向上に継続的に取り組んでいる。
- また、今後の競争力向上に向けて、環境意識の高まる国内外の顧客ニーズへの対応や、生産効率を高めるための設備投資に取り組んでいる。



## 計画の概要

- 同社の強みである多船種建造対応能力を維持しつつ、環境性能の高い新船型の船舶を開発し、内航船市場に供給することにより、内航海運の省エネ化に貢献するとともに、今後のマーケットニーズへの対応を目指す。
- これを実現するために、ジブクレーンの大型化並びに船殻ブロック及び艀装品の運搬効率化に取り組み、工数削減、工程短縮に取り組む。併せて、艀装プラットフォームの築造により、環境対応船舶の建造体制を確立する。

<計画実施期間> 2026年4月～2031年3月

<実施場所> 旭洋造船株式会社本社工場(山口県下関市)



内航コンテナ船「みかげ」